

平成27年度第1回（被服学・美術デザイン）分野連携グループ合同委員会議事概要
学系別FD/ICT活用研究委員会（被服学）
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（美術デザイングループ）

I. 日時：平成28年2月7日（日）13：00～15：00

II. 場所：私立大学情報教育協会事務局

III. 出席者：被服学グループ 阿部委員長、小原委員、石原委員
美術・デザイングループ 井澤委員、有馬委員
事務局 井端事務局長、森下

III. 議事概要

1. 出席委員の紹介

委員会開催にあたり、被服学グループ・美術デザイングループの出席委員の自己紹介が行われた。

2. 報告・検討の概要

(1) アクティブ・ラーニング対話集会の開催要項の検討

分野連携による対話集会の開催要項（案）を検討し、意見交換のテーマ、話題提供の内容、対話集会の進め方について意見交換された。

3. 意見交換の概要

(1) 対話集会での意見交換のテーマと話題提供について

前回の検討を踏まえて以下の議論がなされた

- ・ 地域連携のアクティブ・ラーニングを一つテーマとして考える。
- ・ 被服や美術デザインでは、制作したものが地域や組織、場合によっては国を越えて大きな役割を果たすので学生の制作発表、アイデンティティを表現していく社会に向けて学びを発表していく事例などが欲しい。
- ・ 地域連携は学びの通用性を振り返るという意味でも重要であり、学生に、学びの動機付け、意欲を喚起させる意味でも、失敗も含めて、とても重要な環境だと思う。
- ・ その意味で中京大学と椙山女学園大学が地域の企業と連携して取り組んでいるプロジェクトで、もの作りのワークショップを地域で展開するという活動を話題提供してはどうか。どんな学びがあったのか、参加した学生がどのようにして学んできたのかが参考になるのではないか。
- ・ 大学がむしろ拠点になって発信していくというのが、一番、地域創生の先鞭を付けられるのではないか。被服や美術・デザインを通じた学生の取り組み事例が無いか
- ・ 名古屋学芸大学では、学生が企画・運営するPBL型演習授業「ファッションショー」を行っており話題提供できるのではないか。
- ・ 東京家政大学では、知識の統合を目指して、学生主体で「アートキャンプ」を行っている。この事例をアクティブ・ラーニングの提案として話題提供できるのではないか。
- ・ 分野にこだわらずアクティブ・ラーニングというところで線引きしているので知識を組み立て、新しいものを創造しよう。そういうレベルでテーマでやっていきたいと思っている。

- ・ 地域連携でのアクティブ・ラーニングをいろいろと議論するというのは参考になる話題だと思う。

(2) 意見交換のテーマ

意見を踏まえて意見交換のテーマを以下のように決定した。

知識の定着・確認、知識の活用・創造に効果的なアクティブ・ラーニングの在り方及び組織的に推進していくため教学マネジメントの工夫について、下記のテーマで意見交換を行う。

<アクティブ・ラーニング>

- ・ 知識・技能・態度の確認・定着を目指したアクティブ・ラーニング
(産業界・地域社会との連携による問題発見・解決型 PBL 型授業の方略)
- ・ 知識の創造を目指したアクティブ・ラーニング
(異分野との意見交換・知識組み合わせによる発想型授業)

<教学マネジメント>

- ・ アクティブ・ラーニングを組織的に推進していくための取組み

(3) 話題提供

話題提供を以下のように決定した。

- ① 大学間・地域連携ワークショップの運営による学生参加型授業
宮田 義郎 氏 (中京大学工学部)
- ② 知識の統合を目指した学生主体の「アートキャンプ」による
アクティブ・ラーニングの提案
有馬 十三郎 氏 (東京家政大学家政学部)
田中 千賀子 氏 (東京家政大学家政学部)
- ③ 学生が企画・運営する PBL 型演習授業「ファッションショー」の提案
石原 久代 氏 (名古屋学芸大学メディア造形学部)
鈴木 良麻 氏 (名古屋学芸大学 3 年生実行委員長)

(4) 開催日時と場所

開催日時 平成 28 年 3 月 20 日 (日) 13:00~16:00

開催場所 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

V. 今後の予定

次回は対話集会とし、当日 13:00 から事前打合せ会を実施することにした。